

2026年6月24日
電源開発株式会社
九州電力株式会社

JOGMEC「先進的CCS事業」に関する設計業務の委託先候補に選定されました

～船舶輸送案件の効率的なCO2輸送に向けた検討を推進～

電源開発株式会社（以下「Jパワー」）及び九州電力株式会社（以下「九州電力」）は、2024年度より独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（以下「JOGMEC」）の「先進的CCS (Carbon dioxide Capture and Storage：二酸化炭素回収・貯留) 事業に係る設計作業等」を受託し、長崎県松浦市の石炭火力発電所でのCCS事業の実現可能性を検討してきました^{※1}。

※1 2024年10月10日付 プレスリリース [「JOGMEC「先進的CCS事業」に関する委託業務を受託しました」](#)

この度、両社は、JOGMECの「2026年度先進的CCS事業船舶輸送案件に係る分離回収・液化・一時貯蔵・出荷設備の設計作業等」に関する公募において、委託先候補として選定されました^{※2}。

今後、JOGMECと協議を行い、早期の契約締結を目指します。

※2 2026年6月24日付 JOGMECプレスリリース [「先進的CCS事業 船舶輸送案件に係る排出事業者クラスターの選定」](#)

Jパワーは、[J-POWER “BLUE MISSION2050”](#) で掲げるカーボンニュートラルの実現に向け、CCSをはじめとした様々な手段を通じて、電力安定供給に貢献しながら石炭火力の低・脱炭素化に挑戦してまいります。

九州電力は、「[九電グループ経営ビジョン2035](#)」において、電力の安定供給を前提としながら電源の低・脱炭素化を進めることとしており、カーボンマイナスに向けてCCSをはじめとした取り組みを加速してまいります。

両社は、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献できるよう、協調して取り組んでまいります。

[今回選定された CCS 事業の対象地点]

	Jパワー	九州電力
所在地	長崎県松浦市志佐町白浜免	
設備	松浦火力発電所2号機	松浦発電所2号機
出力	100万kW	100万kW
燃料	石炭	石炭
運転開始	1997年7月	2019年12月
CO ₂ 想定出荷量	100万トン/年	100万トン/年

以上